



2025/01/13 公開

はやし動物病院 林圭子 獣医師

大阪市東淀川区に平成元年（1989年）に開業。

「動物にも人間と同じくらいのきめ細やかな診療を」をモットーに日々診療にあたっております。

家族の一員である動物との楽しく健康な毎日のために、いろいろな角度から、多様な治療を心がけております。

日本ペット中医学研究会 -JPCM- 会員病院 中医学担当獣医師を紹介します

[日本ペット中医学研究会](#)で中医学を学んでいる獣医師を紹介するシリーズです。

『漢方（中医学）との出会い』『漢方（中医学）の良いところ』『ひと言メッセージ』で自己紹介しています。



林 圭子（はやし けいこ） 獣医師（[はやし動物病院](#)）

『漢方（中医学）との出会い』

もともと院長が中医学に興味を持っており、少人数の勉強会に参加していたりしたのですが、院長の勧めで私が引き継ぎ、当時、獣医東洋医学会という名称の小動物臨床鍼灸学コースに参加したのがきっかけです。

中医学の基礎理論から始まり臨床に至るまで幅広い内容で、とても重厚で、興味深く感じました。

その後、北京での鍼灸セミナーで日本ペット中医学研究会に出逢いました。

そして臨床を重ねていくにつれ、鍼治療とQUANPOW製剤はとても相性がよい事が分かってきたのでした。

『漢方（中医学）の良いところ』

まず、よく言われる事ですが、動物の身体全体とその環境を見るという事です。

西洋医学では診察 検査 病名（場所） 処方（治療）という流れですが、中医学では病名重視ではなく、病に至るまでの過程（習慣、食事、性格、環境など）から始まり四診（望、聞、問、切）・検査を経て一人一人の体質を加味して処方されるところです。

また病のステージにより処方を変化させていくところ、治れば終わりではなく、養生（予防）という形をとるところも良いところです。

『ひと言メッセージ』

私は一診療あたり一時間の予約の枠を取っており、主に神経疾患の鍼灸治療を行っております。

その間、動物を挟んで飼い主様と様々なお話しをしながら、動物をじっくり見たり触ったりしながら治療します。

そして回を重ねる毎にその子の病状、環境、性格、習慣、飼い主様とのかかわり方などを知ることが出来、それが治療の方針や理解にとっても役立っています。

会員病院紹介ページはこちら [はやし動物病院](#)